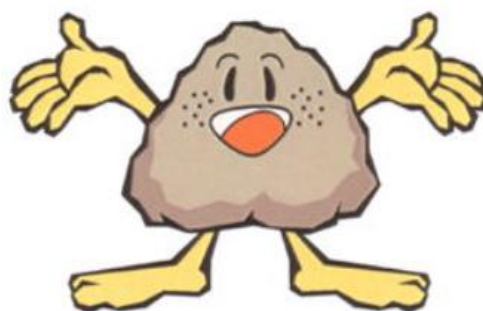




日本最古の石発見地のまち「ひちそうちょう」

七宗町学校施設個別施設計画書案



令和3年3月

七 宗 町

目 次

1. 学校施設の長寿命化計画の背景と目的	1
2. 学校施設の目指すべき姿	1
3. 学校施設の実態	2
4. 学校施設整備の基本的な方針	5
5. 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準	5
6. 個別施設計画の実施計画	6
7. 個別施設計画の継続的運用方針	8

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

(1) 背景

本町の学校教育系施設（小中学校である4施設）は、個別施設計画の対象施設（18施設）の総延床面積31,020.37㎡のうち14,492㎡を有している。このうち上麻生小学校は築50年以上、神淵小学校は築60年以上を経過した施設であり、老朽化対策が喫緊の課題である。全国的にも更新需要が高まる中、国や地方自治体における財政状況は人口減少や少子高齢化の進展による社会構造の変化、さらには感染症対策等に対する臨時巨額な支出を余儀なくされたことで非常に厳しく、学校施設更新の需要を抑制する必要がある。また、新学習指導要領等に基づく多様な学習内容や形態に対応した高機能かつ多機能な施設環境の整備に加え、防災対策、バリアフリー化、普通教室やトイレ等のこどもたちの学習・生活空間の快適化、環境負荷の低減等の様々な配慮が学校施設に求められている。

(2) 目的

学校施設個別施設計画は、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの削減・予算の平準化を実現しつつ、学校施設に求められる機能を確保するため、本町内の学校施設の老朽化等の状況を把握し、地域における学校施設の役割等を考慮した上で、中長期的な施設整備の具体的方針・計画を示すものである。

(3) 計画期間

計画期間は、2021（令和3）年度から2045（令和27）年度までの25年間とし、5年ごとに見直す。

(4) 対象施設

上麻生小学校、上麻生中学校、神淵小学校、神淵中学校の4施設とする。

2. 学校施設の目指すべき姿

学校施設の目指すべき姿は、安全安心な教育環境の提供である。感動ある学校教育の実現を目指すため、学校施設の充実は必須である。また、学校施設は地域住民にとって生涯学習やスポーツの場として親しまれるとともに、災害発生時に避難所となる役割を担っており、防災面での機能も期待される。さらに社会的な要請として、省エネ対応などの環境負荷の低減やユニバーサルデザインに留意した施設にしていくことも求められる。

3. 学校施設の実態

(1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

図表 1：各学校別の生徒数推移・運営状況・活用状況

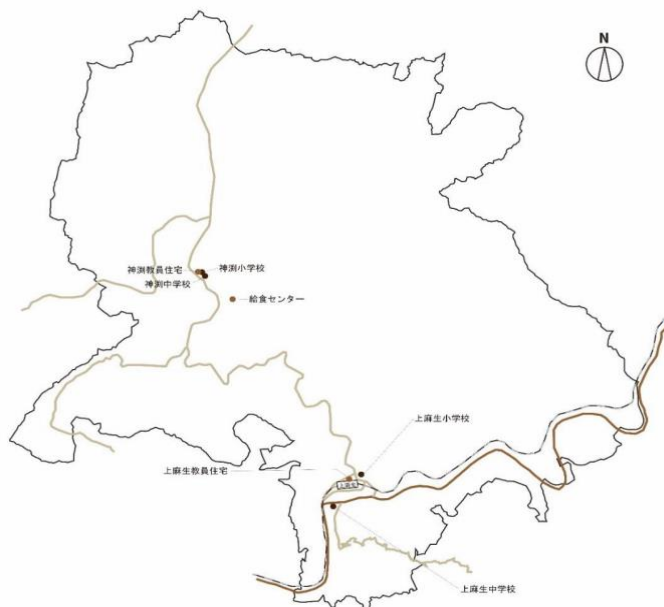
学校名	上麻生小学校			神測小学校		
年度	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
生徒数	80人	68人	68人	65人	65人	58人
体育館 利用件数(年間)	136件	112件	93件	0件	0件	0件
体育館 使用料収入(年間)	177,500円	141,500円	103,000円	0円	0円	0円
売電収入(年間)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
正職員数	12人	12人	12人	12人	13人	12人
その他の職員数	5.0人	3.5人	3.0人	3.5人	4.0人	4.0人

学校名	上麻生中学校			神測中学校		
年度	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
生徒数	45人	50人	40人	37人	35人	37人
体育館 利用件数(年間)	23件	41件	85件	38件	35件	47件
体育館 使用料収入(年間)	29,000円	47,500円	33,500円	54,000円	49,000円	51,000円
売電収入(年間)	4,053円	4,099円	4,171円	1,257円	2,740円	2,272円
正職員数	13人	11人	12人	11人	12人	12人
その他の職員数	4.0人	4.0人	4.0人	3.5人	3.0人	3.0人

出典：七宗町施設カルテ

(2) 学校施設の配置状況

図表 2：学校施設の配置図



出典：七宗町公共施設等総合管理計画

(3) 学校施設の老朽化状況の実態

① 構造躯体の健全性の評価

図表3：学校施設の資産内容毎における老朽化状況

資産名称	補助科目名称	取得年月日	構造	階数(上/下)	所有区分	耐震性能	アスベスト対策	面積	取得価額(円)	減価償却累計額(円)	期末簿価(円)	有形固定資産 減価償却率
上麻生小学校									815,612,802	714,297,868	101,314,934	88%
上麻生小学校(校舎)	建物	1967/12/01	鉄筋コンクリート造	上/3階	町有	有	未使用	2,428㎡	521,805,000	521,804,999	1	100%
上麻生小学校屋内運動場(本体)	建物	2003/03/01	木造	上/1階	町有	有	未使用	997㎡	218,400,000	160,742,400	57,657,600	74%
上麻生小学校屋内運動場(電気設備)	建物付属設備	2003/03/01			町有				23,415,000	23,414,999	1	100%
上麻生小学校屋内運動場(機械設備)	建物付属設備	2003/03/01			町有				5,040,000	5,039,999	1	100%
上麻生小学校(遊具)	工作物	1967/03/01			町有				1	0	1	0%
上麻生小学校(グラウンド)	工作物	1967/12/01			町有				1	0	1	0%
上麻生小学校配膳室	建物	2013/11/01	鉄骨その他造	上/1階	町有	有	未使用	46㎡	13,273,000	2,579,241	10,693,759	19%
上麻生小学校空調設備設置	建物付属設備	2018/11/30			町有				10,690,000	716,230	9,973,770	7%
上麻生小学校空調設備設置工事	建物付属設備	2019/06/14			町有				13,993,400	0	13,993,400	0%
上麻生小学校プールフロア敷込工事	工作物	2019/07/22			町有				8,208,000	0	8,208,000	0%
上麻生小学校保健室シャワールーム設置工事	建物付属設備	2019/09/03			町有				788,400	0	788,400	0%
神測小学校									606,365,171	560,890,031	45,475,140	93%
神測小学校(校舎)	建物	1961/03/01	鉄筋コンクリート造	上/3階	町有	有	未使用	2,624㎡	557,065,000	557,064,999	1	100%
神測小学校(グラウンド)	工作物	1961/03/01			町有				1	0	1	0%
神測小学校配膳室	建物	2013/11/01	鉄骨その他造	上/1階	町有	有	未使用	46㎡	14,208,000	2,760,936	11,447,064	19%
神測小学校2・3階手摺設置	建物付属設備	2015/09/10			町有				1,213,650	106,800	1,106,850	9%
神測小学校空調設備設置	建物付属設備	2018/11/30			町有				14,288,000	957,296	13,330,704	7%
神測小学校空調設備設置工事	建物付属設備	2019/06/11			町有				19,590,520	0	19,590,520	0%
上麻生中学校									743,081,648	483,230,056	259,851,592	65%
上麻生中学校(校舎)	建物	2000/10/01	鉄筋コンクリート造	上/3階	町有	有	未使用	2,663㎡	256,987,500	104,265,841	152,721,659	41%
上麻生中学校校舎(電気設備)	建物付属設備	2000/10/01			町有				53,471,250	53,471,249	1	100%
上麻生中学校校舎(機械設備)	建物付属設備	2000/10/01			町有				45,281,250	45,281,249	1	100%
上麻生中学校食堂棟(本体)	建物	2000/10/01	鉄骨その他造	上/1階	町有	有	未使用	186㎡	31,983,000	14,821,387	17,161,613	46%
上麻生中学校食堂棟(電気設備)	建物付属設備	2000/10/01			町有				5,187,000	5,186,999	1	100%
上麻生中学校屋内運動場(本体)	建物	2001/02/01	木造	上/1階	町有	有	未使用	1,147㎡	265,650,000	219,958,200	45,691,800	83%
上麻生中学校屋内運動場(電気設備)	建物付属設備	2001/02/01			町有				24,885,000	24,884,999	1	100%
上麻生中学校屋内運動場(機械設備)	建物付属設備	2001/02/01			町有				4,095,000	4,094,999	1	100%
上麻生中学校(グラウンド)	工作物	2001/02/01			町有				11,445,000	7,004,340	4,440,660	61%
上麻生中学校 太陽光設備一式	工作物	2016/01/19			町有				13,879,976	3,275,672	10,604,304	24%
上麻生中学校グラウンド進入路舗装工事	工作物	2016/07/29			町有			179㎡	845,640	169,971	675,669	20%
上麻生中学校空調設備設置	建物付属設備	2018/11/30			町有				12,166,432	815,150	11,351,282	7%
上麻生中学校空調設備設置工事	建物付属設備	2019/06/14			町有				17,204,600	0	17,204,600	0%
神測中学校									782,142,149	422,363,923	359,778,226	54%
神測中学校(校舎)	建物	2003/07/01	鉄筋コンクリート造	上/3階	町有	有	未使用	3,194㎡	357,975,000	122,320,814	235,654,186	34%
神測中学校校舎(電気設備)	建物付属設備	2003/07/01			町有				46,860,000	46,859,999	1	100%
神測中学校校舎(機械設備)	建物付属設備	2003/07/01			町有				44,454,000	44,453,999	1	100%
神測中学校屋内運動場(本体)	建物	2004/02/01	木造	上/2階	町有	有	未使用	1,161㎡	258,300,000	178,227,000	80,073,000	69%
神測中学校屋内運動場(電気設備)	建物付属設備	2004/02/01			町有				19,383,000	19,382,999	1	100%
神測中学校屋内運動場(機械設備)	建物付属設備	2004/02/01			町有				5,775,000	5,774,999	1	100%
神測中学校(グラウンド)	工作物	1961/03/01			町有				1	0	1	0%
神測中学校 太陽光設備一式	工作物	2016/03/22			町有				18,987,306	4,481,004	14,506,302	24%
神測中学校渡り通路手摺・カーテン設置	建物	2018/09/21			町有				503,074	33,705	469,369	7%
神測中学校空調設備設置	建物付属設備	2018/11/30			町有				12,379,168	829,404	11,549,764	7%
神測中学校空調設備設置工事	建物付属設備	2019/06/11			町有				17,525,600	0	17,525,600	0%

出典：七宗町施設カルテ、公会計固定資産台帳

②構造躯体以外の劣化状況等の調査

点検内容については、下記の項目を目視、触診、聴診等の方法により点検し、建物の劣化具合の把握を行った。ただし、屋上などの高所で転落等のおそれがある場合は、必ずしも現場に立ち入って点検せず、周りの安全な場所から目視にて確認するなど安全を最優先している。施設点検シートにおける状態（○または×）の定義は次の通りである。

○：劣化がなく、正常な状態。

劣化は見られるが、建物に影響がない程度である。

×：劣化が激しく建物に影響がある。

一部損傷がある。安全が確保されていない等

図表 4：学校施設の劣化状況点検内容（建物）

点検箇所	点検内容
屋根 (防水)	屋根の仕上げ（防水層、屋根葺き材等）にひび割れ、浮き、ひどい劣化はないか。
	ルーフトレン廻りや雨どいの中に枯葉や土が堆積していたり雑草が生えていないか。
	パラペットにひび割れやモルタルの浮きや剥がれはないか。
	屋上の設置物（TVアンテナ、フェンス等）の金物に腐食、劣化はないか。
外壁・建具 (サッシ)	塗膜が剥がれたり、亀裂（クラック）はないか。
	モルタルやタイルの浮きはないか。
	鉄筋が露出したり、錆汁の発生はないか。
	目地（打ち継ぎ目地等）や建具廻りのシール材に亀裂はないか。また、硬化しひどく劣化していないか。
	面格子、タラップの取り付けに（ぐらつき、錆び）はないか。
建具の開閉や建付けに異常はないか。	
内装	漏水やシミ、カビの発生はないか。
	手摺、ノンスリップにぐらつきや外れはないか。
	防火戸前に荷物や家具はないか。
外構	コンクリート擁壁や万年塀・コンクリート塀に亀裂や損傷はないか。
	メッシュフェンスに破れはないか。
	錆びの発生や錆汁の噴出はないか。
	塀に傾きはないか。
	地盤に不陸、陥没、隆起はないか。
	マンホールや側溝の蓋にひび割れや破損はないか。

出典：施設点検シート

4. 学校施設整備の基本的な方針

学校施設は、本町が保有する公共建築物としては、施設数・延床面積ともに最も大きく、特に上麻生・神渕両小学校は建設より 50 年近く経過しており、老朽化が進んでいる。また、少子化により児童・生徒の数が減少している。再編年度（2025年度）を機に、次の3つのパターンで再編を検討する。

パターン① 中学校を統合し小学校を残す場合

パターン② 小中一貫校（義務教育学校）とした場合

（上麻生地区、神渕地区でそれぞれ一校を想定している）

パターン③ 小学校1校、中学校1校とした場合

5. 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準

（1）改修等の整備水準

改修等の整備水準は、イニシャルコストではなくライフサイクルコストを重視した改修等を行う。コストに配慮しながら環境性能や利用者快適性を高めるよう努める。

（2）維持管理の項目・手法等

建築基準法第12条2項に準じた定期点検を3年ごとに実施するとともに、予防保全の観点から各担当課での日常点検を毎年1回以上実施する。これにより予算措置が必要なものについては、予防保全の考え方から予防的な修繕等を実施することで機能・性能の保全を図ることを検討する。予算措置が必要ないものについても、職員の日頃の清掃活動等の中で実施できるものに関しては予防保全を実施していく。

6. 個別施設計画の実施計画

(1) 改修等の優先順位付けと実施計画

両小学校は老朽化が著しく進行しているため、再編年度においていずれも解体する。各パターン別で耐用年数（使用年数）到来時改築もしくは長寿命化のいずれが有利かどうかのコストメリットを示す。

(2) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

パターン① 中学校を統合し小学校を残す場合

PLAN：A 神淵中学校へ中学校機能を統合、上麻生中学校施設は解体。
各小学校施設を建替えるケース

PLAN：B 上麻生中学校へ中学校機能を統合、神淵中学校施設は解体。
各小学校施設を建替えるケース

PLAN：C 神淵中学校へ中学校機能を統合、上麻生小学校は上麻生中学校の施設を利用するケース
(上麻生小学校は解体し、神淵小学校を建替える)

PLAN：D 上麻生中学校へ中学校機能を統合し、神淵小学校は神淵中学校の施設を利用するケース
(神淵小学校は解体し、上麻生小学校を建替える)

パターン② 小中一貫校（義務教育学校）とした場合

PLAN：E 各中学校を増築し、小学校機能を各中学校施設へ受け入れる
ケース（各小学校施設は解体）

パターン③ 小学校1校、中学校1校とした場合

PLAN：F 上麻生中学校へ中学校機能を統合し、神淵中学校施設は小学校機能を集約するケース

PLAN：G 神淵中学校へ中学校機能を統合し、上麻生中学校施設は小学校機能を集約するケース

図表5：各PLAN毎におけるライフサイクルコスト（LCC）の計算

（単位：千円）

基本情報		上麻生小学校		神淵小学校		上麻生中学校		神淵中学校		総合計
PLAN	更新年度	更新政策	LCC	更新政策	LCC	更新政策	LCC	更新政策	LCC	
A	2025	建替	1,191,469	建替	1,286,504	解体	144,938	統合	1,189,836	3,812,747
B	2025	建替	1,191,469	建替	1,286,504	統合	936,362	解体	257,467	3,671,802
C	2025	解体	145,295	建替	1,286,504	統合	1,102,700	統合	1,189,836	3,724,335
D	2025	建替	1,191,469	解体	157,024	統合	936,362	統合	1,389,342	3,674,197
E	2025	解体	145,295	解体	157,024	増築	1,733,029	増築	2,020,057	4,055,405
F	2025	解体	145,295	解体	157,024	統合	936,362	増築	2,522,317	3,760,998
G	2025	解体	145,295	解体	157,024	増築	2,318,595	統合	1,189,836	3,810,750

各種コストの計算は「平成31年度建築物のライフサイクルコスト」に基づく。

7. 個別施設計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

公共施設の施設基本情報や光熱水費、修繕履歴情報、点検情報などを統一フォーマットで管理する保全情報データベースを整理し、これまでの事後保全から予防保全に向けての施設関連情報を一元管理していくものとする。

(2) 推進体制等の整備

総合管理計画の所管課である総務課による全庁的な基準・方針等を踏まえながら、学校施設の整備・管理の所管である教育課が中心となって、本計画をもとにした学校施設マネジメントを行っていくものとする。

また日常管理・点検の充実に向けては、施設管理・点検マニュアルなどの整備を検討するとともに、マニュアルの実施に向けた研修会などにより、不具合箇所の早期発見・早期改修によりランニングコストの低減を図っていくものとする。

(3) フォローアップ

本計画は、学校施設の改修等の優先順位を設定するものであり、実施にあたっては各更新政策について庁内合意を得る中で、実施計画等での予算措置を行い事業実施を行っていくものである。こうしたことから、事業の進捗状況や点検結果などを反映して計画をフォローアップし、必要に応じ計画の見直しを図るものとする。